

1月のあそびのレシピ

こなら・くぬぎ・かしわ・しらかし…、「ドングリ」の木です。ドングリと言っても幅はひろく、日本には20種類ほどがあります。日本各地に生えています。このドングリの木を育ててみましょう。

◎材 料 | ドングリ、栽培用ポット、腐葉土

◎育て方 | 境内・公園・森など、意外と身近なところでドングリを拾うことができます。

秋、木から落ちたドングリを拾い、ポットに腐葉土を入れ、ドングリを1cmほどの深さのところに横向きに寝せて置き、腐葉土をかぶせます。これで作業は終了。水やりをしながら、春には芽を出し、3年ほどで30cmほどの苗木となります。

子ども会に入った年にドングリを植え、皆で育て、苗木を卒業記念として持ち帰り、夢と希望をともにしながら生長を見まもる。初めてドングリが実をつけたとき、どんなよるこびが待っているのでしょうか。

ドングリの木を育てることで、CO²削減の一助にもなります。小さな一歩でも、地球へのプレゼントという壮大なプロジェクトなのです。

苗木は持ち帰るほか、環境問題に取り組むNPO団体に寄贈するのも方法です。近くの公園や山で、子ども会で育てたドングリを見ることができるのです。

ドングリの実だけではなく、葉っぱや樹形などを観察するのもよいでしょう。こなら・くぬぎ・かしわ・しらかし、それぞれ葉っぱの形や厚みなどのちがいを観察し、拾った葉っぱを画用紙などにのせて、貼り絵で動物や植物などを描いてみるのもよいでしょう。

参考図書

『どんぐりノート』いわさ ゆうこ著 文化出版局刊

